

令和元年8月23日

まちづくり委員会資料

平成30年度公益財団法人川崎市公園緑地協会
「経営改善及び連携・活用に関する取組評価」について

建設緑政局

経営改善及び連携・活用に関する取組評価

(平成30(2018)年度)

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局緑政部みどりの企画管理課
-----------------	------------------	------------	-------------------

1. 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する取組

本市施策における法人の役割

市の緑地等に関する事業及び民有地の緑化に関する事業の推進に協力し、公園緑地の円滑な運営及び健全な利用の促進並びに市民の緑化意識の向上を図ることによって緑豊かな潤いと安らぎのあるまちづくりに寄与するとともに、ボランティアセンターとしての機能を付加することで、市民活動拠点として充実させること

- ・緑のボランティア育成及び持続的な活動の支援
- ・民有地に対する助成事業を行い、緑の保全、緑化の推進及び緑化意識の向上
- ・公園緑地施設等の管理運営

法人の取組と関連する計画	市総合計画と連携する計画等	基本政策	施策
		市民生活を豊かにする環境づくり	協働の取組による緑の創出と育成
	分野別計画	川崎市緑の基本計画	

4カ年計画の目標

緑の保全と緑豊かな街づくりの推進及び公園緑地の円滑な運営を通して市民に健全な利用の促進を図り、潤いと安らぎのある街づくりを行うことによって、地域社会の健全な発展に寄与するという公園緑地協会の目的を達成するため、「緑の街づくりの推進及び普及啓発に関する事業」「公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業」「収益事業」の3つを柱に、川崎市の緑の保全と緑豊かな街づくりを推進し、法人を市民等の緑の活動支援や育成、普及啓発のためのボランティアセンターとしての機能を有する緑の拠点として位置づけ、緑に関する事業運営を推進拡充していきます。

2. 本市施策推進に向けた事業取組

取組№	事業名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (平成30 (2018)年度)	実績値 (平成30 (2018)年度)	達成度 (※1)	本市による評価 ・達成状況 (※2) ・費用対効果 (※3)	今後の取組の 方向性 (※4)
①	緑化推進・普及啓発事業	広報出稿等回数	回	241	243	228	c	D	II
		記念樹配布本数	本	1,126	1,140	1,079	c		
		事業別の行政サービスコスト	千円	50,573	50,500	50,541	2)		
②	緑のボランティア事業(緑のボランティアセンター運営事業)	各種講座受講者満足度	%	90	92	93	a	A	I
		各種講座受講者数	名	3,866	3,870	4,071	a		
		事業別の行政サービスコスト	千円	61,305	61,300	63,134	2)		
③	公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業	各種イベント等実施回数	回	36	36	43	a	B	I
		ばら苑来苑者数	人	75,112	95,200	86,867	b		
		事業別の行政サービスコスト	千円	238,681	209,000	195,964	1)		

3. 経営健全化に向けた取組

取組№	項目名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (平成30 (2018)年度)	実績値 (平成30 (2018)年度)	達成度	本市による 評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	経費の削減	一般管理費	千円	23,673	23,500	22,699	a	A	I

4. 業務・組織に関する取組

取組№	項目名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (平成30 (2018)年度)	実績値 (平成30 (2018)年度)	達成度	本市による 評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	人事給与制度の改革	役員報酬、正規職員給与	千円	88,227	87,000	87,770	b	C	II
②	コンプライアンスの徹底	コンプライアンスに反する事案の発生件数	件	0	0	0	a	A	I

(※1)【 a. 目標値以上、b. 現状値以上～目標値未満、c. 目標達成率60%以上～現状値未満、d. 目標達成率60%未満】

(行政サービスコストに対する達成度については、1. 実績値が目標値の100%未満、2. 実績値が目標値の100%以上～110%未満、3. 実績値が目標値の110%以上～120%未満、4. 実績値が120%以上)

(※2)【A. 目標を達成した、B. ほぼ目標を達成した、C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった、D. 現状を下回るものが多くあった、E. 現状を大幅に下回った】

(※3)【(1). 十分である、(2). 概ね十分である、(3). やや不十分である、(4). 不十分である】

(※4)【 I. 現状のまま取組を継続、II. 目標の見直し又は取組の改善を行い取組を継続、III. 状況の変化により取組を中止】

本市による総括

各取組の評価結果を踏まえ、本市が今後法人に期待すること、対策の強化を望む部分など

緑のボランティア事業、公園緑地の運営及び健全な利用促進事業などについては、概ね目標を達成し、緑豊かな潤いと安らぎのあるまちづくりに寄与しており、本市が求める役割を果たしていますが、緑化推進・普及啓発事業については、目標未達成であり、広報面で課題があります。

緑化推進・普及啓発事業については、川崎市の緑の魅力を発掘し、あらゆる広報媒体を活用し、出稿回数が増だけでなく、情報発信の質の向上を図ることにより、市民の緑化意識を高めるとともに、多様な主体をつなぐ機会の創出を期待します。

緑のボランティア事業については、重要な取組なので、引き続き緑のボランティアセンターとしての強みを活かし、次世代の緑のパートナーの核となる子どもたちを対象とした新たな企画や、緑の人材バンクの活用など、緑の活動の担い手となる人材育成の積極的な取組を期待します。

公園緑地の運営及び健全な利用促進事業については、適正な管理運営を維持するとともに、さらに魅力あるイベントの実施により、公園の魅力向上、賑わい創出に寄与することを期待します。

経営健全化、業務・組織に関する取組についても、事業の効率化、経費削減を図るとともに、持続的な事業執行体制について検討し、経営の安定化に向けた取組を期待します。

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局緑政部みどりの企画管理課
----------	------------------	-----	-------------------

2. 本市施策推進に向けた事業取組①(平成30(2018)年度)

事業名	緑化推進・普及啓発事業
計 画 (Plan)	
指標	①広報出稿等回数、②記念樹配布本数
現状	緑化推進・普及啓発事業等を広報する媒体として広報誌・チラシ・パンフレット等の発行からホームページの活用まで幅広い広報活動を展開
行動計画	広報誌・チラシ・パンフレット・タウン紙等の紙媒体からホームページなどの電子媒体を幅広く活用し、広く市民に緑化の推進・普及啓発事業等を周知していく。更にフェイスブック等を活用し、リアルタイムに情報を提供、周知できるよう努めます。
具体的な取組内容	平成30年度は、緑化推進・普及啓発活動を広報する媒体、とくにホームページの充実を図りフェイスブックの活用によりリアルタイムな情報発信を行い市民の緑化意識の向上に努め目標達成に繋げていきます。

実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	【指標1関連】 公益目的事業である緑化推進・支援事業等の広報にあたって、広報誌、チラシ、パンフレット、タウン紙等の紙媒体及びホームページ等の電子媒体などの幅広い媒体を活用し、特にフェイスブックの内容を充実させ、リアルタイムの情報提供、周知を実施し、広く市民の緑化意識の向上、普及啓発の推進を行いました。前年度実績と比べ、ホームページ更新回数がやや減少しました。
	【指標2関連】 公益目的事業である緑の普及啓発事業の「思い出記念樹」をPRする上で、チラシ等にQRコードを活用し、記念樹として配布できる16種類の苗木の写真と説明書が見られる環境を整備し、周知を行いました。前年度実績と比べ、記念樹配布本数はやや減少しました。
	【その他】

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	広報出稿等回数	目標値	241	243	245	248	250	回
	説明 広報誌・ホームページ等による緑化推進・普及啓発事業等の広報活動を展開 ※個別設定値・229(現状値の95%)	実績値		228				
2	記念樹配布本数	目標値	1,126	1,140	1,150	1,160	1,170	本
	説明 出生、入学、結婚等の市民の思い出記念として、記念樹を贈呈	実績値		1,079				
指標1 に対する達成度		C	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満					
指標2 に対する達成度		C	※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

広報出稿数は、紙媒体数の増加に加え、フェイスブックの内容等の充実を図りましたが、ホームページ更新数が減少し、目標達成はできませんでした。また、記念樹配布本数についても、チラシにQRコードを添付し苗木等を視覚で確認できるなど工夫を凝らしましたが、配布数の目標達成はできませんでした。今後も、広報手段として紙媒体の活用を図るとともに電子媒体の活用を増やし、リアルタイムに情報提供できる環境整備に努めます。

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	D

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	50,573	50,500	50,300	50,100	50,000	千円
	説明 直接事業費ー直接自己収入	実績値		50,541				
行政サービスコストに対する達成度		2)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上					

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

事業経費は削減したが、人件費コストが増加し目標は達成できませんでした。今後も限られた予算の中で、広報に関して紙媒体から電子媒体への活用など更に創意工夫を重ね、事業経費の見直しと削減に努め、円滑な事業運営に努めます。

本市による評価	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価)	区分	区分選択の理由
		(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	(3)

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分		方向性の具体的内容
	Ⅰ. 現状のまま取組を継続 Ⅱ. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 Ⅲ. 状況の変化により取組を中止	Ⅱ	

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局緑政部みどりの企画管理課
----------	------------------	-----	-------------------

本市施策推進に向けた事業取組②(平成30(2018)年度)

事業名	緑のボランティア事業(緑のボランティアセンター運営事業)
計 画 (Plan)	
指標	①各種講座受講者満足度 ②各種講座受講者数
現状	緑のボランティア活動団体の育成を図るため、応募方式等による各種講座・出前講座を開催するとともに、緑のボランティア活動に対する支援事業を展開し、緑化意識の向上を図っています。
行動計画	緑のボランティア育成と活動支援を目的とした各種講座・出前講座等を開催し、受講者数を増やすとともに、受講者の満足度を高めていきます。
具体的な取組内容	平成30年度も引き続き緑のボランティアの育成と活用そして支援事業の充実を図ります。各種講座・イベント等の事業も充実させ、緑化推進リーダーの育成に努めてまいります。各種講座の修了生を協会人材バンクに登録いただき、協会が開催するイベント・花と緑の相談員、出前講座などにボランティアリーダーとして派遣し、公園緑地等を中心とした市民協働による地域コミュニティの形成を図ります。

実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	【指標1関連】 緑のボランティア育成と活動支援を目的とした各種講座・出前講座を開催し、内容の充実を図るとともに、講座のファシリテーターやテキストの監修等をボランティアと協働で行い、市民協働による運営を行うことにより、受講者満足度の向上に努めました。
	【指標2関連】 各種講座受講者数の増加を図るため、講座の内容を充実させるとともに、川崎のみどりを守り、育て、未来へ継続して行くために、子どもや親子を対象とした新たな講座の企画を行いました。 また、出前講座など各地域の住民を対象とした講座には、人材バンクに登録をしているみどりのボランティアをボランティアリーダーとして派遣し、市民協働で講座を実施することにより、受講者数の増加を図りました。
	【その他】

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	各種講座受講者満足度	目標値	90	92	94	96	98	%
	説明 受講者アンケートにおいて、「満足」と回答のあった割合	実績値		93				
2	各種講座受講者数	目標値	3,866	3,870	3,880	3,890	3,900	名
	説明 緑のボランティア育成・支援を目的に行う各種講座等の受講者数 ※個別設定値:3,783(過去の平均値)	実績値		4,071				

指標1
に対する達成度

a

- a. 実績値が目標値以上
b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満
c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満
d. 実績値が目標値の60%未満

指標2
に対する達成度

a

※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

今後も各種講座の内容を充実するとともに、子どもからお年寄りまでみんなで川崎のみどりを守り育て、緑のボランティアの育成・支援に努め、市民協働による地域コミュニティの形成を図ってまいります。

本市による評価

区分	区分選択の理由
達成状況 A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A 子どもや親子を対象とした新たな講座の企画など、内容の充実を図った結果、成果指標1である「各種講座受講者満足度」は93%、成果指標2の「各種講座受講者数」は4,071人となり、目標を達成できたとともに、緑の人材バンクを活用するなど、市民との協働による緑のボランティア育成に寄与したため。

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	61,305	61,300	61,200	61,100	61,000	千円
	説明 直接事業費ー直接自己収入	実績値		63,134				

行政サービスコストに対する達成度

2)

- 1). 実績値が目標値の100%未満
2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満
3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満
4). 実績値が120%以上

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

緑の活動団体助成申請件数が増えた(8件)ことによる助成金支出の増や、子どもや親子を対象とした新たな講座の企画等によりコストが増加し、目標の達成はできませんでしたが、今後も事業経費の見直しと削減を図り、適正な事業運営に努めてまいります。

本市による評価

区分	区分選択の理由
費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価) (1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	(2) 行政サービスコストの目標値の範囲を超えたが、本市施策推進に関する指標の目標値を達成できたとともに、各種講座においても、受講者数を増やすことができ、緑のボランティア育成に寄与したため。

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局緑政部みどりの企画管理課
----------	------------------	-----	-------------------

本市施策推進に向けた事業取組③(平成30(2018)年度)

事業名	公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業
計 画 (Plan)	
指標	①各種イベント等実施回数、②ばら苑来苑者数
現状	収益事業(売店・自動販売機・駐車場)を財源として、独自に展開している各種イベント(自主事業)をはじめ、公園内運動施設、生田緑地ばら苑等の受託運営管理事業を行っています。
行動計画	収益事業の収益額を財源としている各種イベントの実施回数を4年間で10%増加させる目標を設定し、ばら苑でのイベント等の実施を増やしばら苑の来苑者数を増加させます。
具体的な取組内容	平成30年度は収益事業を拡充し収益確保に努め自主事業の財源に繋げていく。とくにばら苑では川崎市と協働によるイベントの開催やばら講習会、ボランティアガイドの実施などを充実させ施設PRと来苑者増加に努めます。

実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	【指標1関連】 自主事業として公園緑地や施設利用促進を目的とした様々なイベントについて内容の充実を図るとともに、実施回数を増やし、参加した市民の方々に親しんでいただきました。 春と秋のばら苑一般開放において、野外ライブコンサート、写真展、来苑者向け講習会、ボランティアガイドツアーを実施し、特にボランティアガイドについては平成30年度から新たに養成講座の実施などにより、イベント内容の充実を図りました。
	【指標2関連】 ばら苑については、秋の一般開放前の台風被害もありましたが、ボランティアとともにバラの育成管理を適正に行い、各種イベント内容の充実を図りながら、来苑者サービスの向上に努めました。
	【その他】

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	各種イベント等実施回数	目標値	36	36	37	38	39	回
	説明	実績値		36	43			
2	ばら苑来苑者数	目標値	75,112	95,200	96,000	98,000	100,000	人
	説明	実績値		75,112	86,867			

指標1
に対する達成度

a

- a. 実績値が目標値以上
- b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満
- c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満
- d. 実績値が目標値の60%未満

指標2
に対する達成度

b

※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

ばら苑の来苑者数は、平成26年度～平成28年度の平均が過去最高の10万人を突破しましたが、平成29年度・30年度は、天候に恵まれず平均で8万人という結果になりました。しかしホームページ等広報の充実とともに、イベント内容の充実及び実施回数を増やすことにより、目標値の90%を上回ることができました。

本市
による評価

区分	区分選択の理由
<p>達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った 	<p>B</p> <p>各種イベントの充実を図った結果、成果指標1である「各種イベント等実施回数」は43回、成果指標2の「ばら苑来苑者数」は86,867人となり、目標を概ね達成できたとともに、そのフィールドとなる公園緑地においても、等々力緑地や生田緑地ばら苑などの適切な管理運営を行うなど、市民の健全な利用促進に寄与したため。</p>

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	238,681	209,000	208,000	207,000	206,000	千円
	説明	実績値		238,681	195,964			

行政サービスコスト
に対する達成度

1)

- 1). 実績値が目標値の100%未満
- 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満
- 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満
- 4). 実績値が120%以上

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

公園緑地施設運営事業の一部縮小により、結果的に行政サービスコストが削減されました。

本市
による評価

区分	区分選択の理由
<p>費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> (1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である 	<p>(1)</p> <p>行政サービスコストの目標値の範囲内で、本市施策推進に関する指標の目標値を概ね達成できたとともに、公園緑地におけるイベントの実施においても、その内容を充実させ、市民の健全な利用促進に寄与したため。</p>

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	<ul style="list-style-type: none"> I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止 	<p>I</p> <p>公益目的事業である公園緑地等の管理運営事業を獲得できるよう取り組むとともに、イベント開催等による市民の健全な利用促進に向けた取組を継続していきます。</p>

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局緑政部みどりの企画管理課
----------	------------------	-----	-------------------

3. 経営健全化に向けた取組①(平成30(2018)年度)

項目名	経費の削減
計 画 (Plan)	
指標	一般管理費
現状	平成25年度公益財団法人への移行に伴い、平成26年度以降組織再編と人件費、事業経費削減を図り、平成29年度も継続して事業の見直しと人員配置変更等を行い、法人運営費にあたる一般管理費の見直しを行っています。
行動計画	光熱水費、消耗品、物件のリース等について、日常の業務見直し、一括発注などにより、一般管理費の経費削減を図ります。
具体的な取組内容	光熱水費、消耗品費、リース等賃借料、委託費、負担金、交際費などに関する日常業務の見直しを図り、一括発注などにより、一般管理費の経費削減を図ります。



実施結果 (Do)	
経営健全化に向けた活動実績	<p>【指標1関連】 一般管理費である事務所経費のうち光熱水費、消耗品費、リース等賃借料、委託費、負担金、交際費などについて日常業務の見直しを図り、文房具・トイレトーパー等の一括発注や、事務所機械警備委託の複数年契約などにより、経費の削減を行いました。</p> <p>【その他】</p>



評価 (Check)

経営健全化に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	一般管理費	目標値	23,673	23,500	23,000	22,500	22,000	千円
	説明 一般管理費の経費総額 ※個別設定値: 24,857 (現状値の105%)	実績値		22,699				

指標1
に対する達成度

a

- a. 実績値が目標値以上
- b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満
- c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満
- d. 実績値が目標値の60%未満

※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

今後も各経費の見直しと無駄を省き、経費削減に努めてまいります。

本市に
よる評価

達成状況

- A. 目標を達成した
- B. ほぼ目標を達成した
- C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった
- D. 現状を下回るものが多くあった
- E. 現状を大幅に下回った

A

日常業務を見直し、経費削減を図った結果、成果指標である「一般管理費」は22,699千円となり、目標を達成できたため。

改善 (Action)

実施結果(Do) や評価(Check) を踏まえた 今後の取組の 方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局緑政部みどりの企画管理課
----------	------------------	-----	-------------------

4. 業務・組織に関する取組①(平成30(2018)年度)

項目名	人事給与制度の改革
計 画 (Plan)	
指標	役員報酬、正規職員給与
現状	平成25年度公益財団法人への移行とゴルフ事業からの撤退に伴い組織再編を継続し人事給与の見直しを行い、役員報酬及びプロバ職員給与月額を減額しています。
行動計画	今後も継続して経営、財政の安定化を図り、人件費削減に努めます。
具体的な取組内容	継続して経営、財政の安定化を図り、人件費削減に努めます。



実施結果 (Do)	
業務・組織に関する活動実績	【指標1関連】 正規職員の月額基本給一律5%削減、理事長の月額報酬40%、専務理事月額報酬20%の削減を行いました。
	【その他】



評価 (Check)

業務・組織に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	役員報酬、正規職員給与	目標値	88,227	87,000	87,000	87,000	63,000	千円
	説明 役員報酬・正規職員給与と経費	実績値		87,770				
指標1 に対する達成度		b	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
正規職員月額基本給一律5%削減、理事長月額報酬40%削減、専務理事月額報酬20%削減を行いました。正規職員定期昇給分に係る賞与、退職給付引当金等のコストが増えたことにより、現状値を下回ったものの、目標設定数値を達成することはできませんでした。								

本市による評価

達成状況	区分	区分選択の理由
	A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	C

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	II

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局緑政部みどりの企画管理課
----------	------------------	-----	-------------------

業務・組織に関する取組②(平成30(2018)年度)	
項目名	コンプライアンスの徹底
計 画 (Plan)	
指標	コンプライアンスに反する事案の発生件数
現状	コンプライアンスに関連する規則の倫理行動基準を遵守しています。
行動計画	引き続きコンプライアンスに関連する規則の倫理行動基準を遵守し、コンプライアンスに反する事案の発生を未然に防ぎます。
具体的な取組内容	関係法令、条例、や契約、仕様内容に基づく業務を実施し、事案が発生しないよう努めます。

実施結果 (Do)	
業務・組織に関する活動実績	<p>【指標1関連】 職員全員にコンプライアンスの徹底を図るとともに、各職場に安全衛生推進者を配置し、各施設の作業安全管理に関するリスクアセスメント研修会等を実施しました。</p> <p>【その他】</p>

評価 (Check)

業務・組織に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	コンプライアンスに反する事案の発生件数	目標値	0	0	0	0	0	件
	説明 事案が発生しないよう努める	実績値		0	0			
指標1 に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
各職場に安全衛生推進者を配置するとともに、各施設管理において作業安全管理に関する研修会等を実施し、職員一人一人にリスクアセスメントの認識を高める取り組みを行いました。								

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I

●法人情報						
(1)財務状況						
収支及び財産の状況(単位:千円)		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	
正味財産増減計算書	(一般正味財産増減の部)					
	経常収益	473,573				
	経常費用	435,396				
	当期経常増減額	38,176				
	当期一般正味財産増減額	37,956				
	(指定正味財産増減の部)					
当期指定正味財産増減額						
正味財産期末残高	555,913					
貸借対照表	総資産	699,518				
	流動資産	294,898				
	固定資産	404,620				
	総負債	143,604				
	流動負債	34,840				
	固定負債	108,764				
	正味財産	555,913				
一般正味財産	424,913					
指定正味財産	131,000					
エラーチェック		OK	OK	OK	OK	
本市の財政支出等(単位:千円)		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	
補助金		97,564				
委託料		178,387				
指定管理料						
貸付金(年度末残高)						
損失補償・債務保証付債務(年度末残高)						
出捐金(年度末状況)		131,000				
(市出捐率)		100.0%				
財務に関する指標		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	
流動比率(流動資産/流動負債)		846.4%				
正味財産比率(正味財産/総資産)		79.5%				
正味財産利益率(当期正味財産増減額/正味財産)		6.8%				
総資産回転率(経常収益/総資産)		67.7%				
収益に占める市の財政支出割合 (補助金+委託料+指定管理料)/経常収益)		58.3%				
法人コメント			本市コメント			
現状認識	今後の取組の方向性	本市が今後法人に期待することなど				
人件費、事業経費の削減及び駐車場事業の収益増により黒字決算となりました。しかしながらここ数年、公益目的事業である指定管理事業や受託事業が減少しているため、経営の安定化に向けた取り組みが今後の課題であると認識しています。	今後も経営状況を勘案しながら、事業の効率化や経費の削減を継続するとともに、収益事業の拡充や指定管理事業の獲得による収益の確保を図ることにより、経営基盤の安定化に努めます。	今後も継続して事業の効率化、業務の見直し、経費の削減を図るとともに、持続的な事業執行体制について検討し、経営の安定化に向けた取り組みを期待します。				
(2)役員・職員の状況(令和1年7月1日現在)						
役員 職員	常勤(人)			非常勤(人)		
	合計	(うち市派遣)	(うち市OB)	合計	(うち市在職)	(うち市OB)
役員	2		2	6		
職員	22		4			
【備考】						
●総役員に占める本市職員及び退職職員の割合が3分の1を超過していることについての法人の見解						
・理由						
・今後の方向性						

平成30年度 出資法人「経営改善及び連携・活用に関する取組評価」について

・これまでの出資法人改革の経緯と出資法人を取り巻く環境の変化を踏まえ、平成30年8月に策定した「経営改善及び連携・活用に関する方針（2018～2021年度）」に基づく、平成30年度の取組について評価を行いましたので、以下のとおり御報告いたします。

・本評価結果は、新たな方針に基づく初年度の評価となるものであり、評価シートに定めるPDCAサイクルを効果的に回していくことにより、本市がこれまで取り組んできた出資法人の「効率化・経営健全化」と本市の行政目的に沿った「連携・活用」を図っていくことにつながっていくものとなります。

1 「経営改善及び連携・活用に関する取組評価」の実施経緯

・本市では、平成14年度の第1次行財政改革プランの策定以降、出資法人が担ってきた役割や事業について検証し、出資法人の統廃合、市の財政的・人的関与の見直し等、効率化・経営健全化に向けた取組を実施してきました。

・平成16年度には、「出資法人の経営改善指針」を策定し、本市が取り組む課題と出資法人自らが取り組む課題を明らかにしながら、出資法人の抜本的な見直しや自立的な経営に向けた取組を推進してきました。

・今後も引き続き、効率化・経営健全化に向けた取組を進めていく必要がある一方で、厳しい財政状況の中で地域課題を解決していくに当たり、多様な主体との連携の重要性が増しているほか、国における「第三セクター等の経営健全化の推進等について」（平成26年8月5日付け総務省通知）等においても、「効率化・経営健全化」と「活用」の両立が求められるなど、出資法人を取り巻く環境が変化してきています。

・こうしたことから、本市がこれまで取り組んできた出資法人の「効率化・経営健全化」とあわせて、本市の行政目的に沿った「連携・活用」を図っていくという視点で、出資法人への適切な関わり方について、外部有識者から構成される「行財政改革推進委員会出資法人改革検討部会」からの提言等を踏まえ、前記指針について「出資法人の経営改善及び連携・活用に関する指針」に改めるとともに、昨年度、各法人の「経営改善及び連携・活用に関する方針」を策定し、毎年度、同方針に基づく各法人の取組の点検評価を実施していくこととしたところです。

平成30年度 出資法人「経営改善及び連携・活用に関する取組評価」について

(参考)対象出資法人

No.	所管局名	所管部署名	法人名
1	総務企画局	シティプロモーション推進室	かわさき市民放送（株）
2	財政局	資産管理部資産運用課	川崎市土地開発公社
3	市民文化局	市民生活部交流推進担当	（公財）川崎市国際交流協会
4		コミュニティ推進部市民活動推進課	（公財）かわさき市民活動センター
5		市民文化振興室	（公財）川崎市文化財団
6		市民スポーツ室	（公財）川崎市スポーツ協会
7	経済労働局	産業振興部金融課	川崎市信用保証協会
8		産業振興部商業振興課	川崎アゼリア（株）
9		産業振興部工業振興課	（公財）川崎市産業振興財団
10		中央卸売市場北部市場管理課	川崎冷蔵（株）
11	健康福祉局	保健所環境保健課	（公財）川崎・横浜公害保健センター
12		長寿社会部高齢者在宅サービス課	（公財）川崎市シルバー人材センター
13		障害保健福祉部障害福祉課	（公財）川崎市身体障害者協会
14		保健医療政策室	（公財）川崎市看護師養成確保事業団
15	こども未来局	こども支援部こども家庭課	（一財）川崎市母子寡婦福祉協議会
16	まちづくり局	総務部庶務課	（一財）川崎市まちづくり公社
17		総務部庶務課	みぞのくち新都市（株）
18		住宅政策部住宅整備推進課	川崎市住宅供給公社
19	建設緑政局	緑政部みどりの企画管理課	（公財）川崎市公園緑地協会
20	港湾局	港湾経営部経営企画課	川崎臨港倉庫埠頭（株）
21		港湾経営部経営企画課	かわさきファズ（株）
22	消防局	予防部予防課	（公財）川崎市消防防災指導公社
23	教育委員会	学校教育部健康給食推進室	（公財）川崎市学校給食会
24		生涯学習部生涯学習推進課	（公財）川崎市生涯学習財団

2 「経営改善及び連携・活用に関する取組評価」の全体構成

・前記1のとおり、各法人の「経営改善及び連携・活用に関する方針」の策定とそれに基づく取組評価の趣旨は、本市がこれまで取り組んできた出資法人の「効率化・経営健全化」とあわせて、本市の行政目的に沿った「連携・活用」を図っていくというところに主眼があるため、その実施を担保する取組評価となっています。

・即ち、具体的な取組評価シートにおいては、まず「本市施策における法人の役割」を明確にし、「4ヵ年計画の目標」を立て、「本市施策推進に向けた事業取組」と「経営健全化に向けた取組」、「業務・組織に関する取組」の各視点から取り組むべき事業・項目とその指標を設定し、当該達成状況とコストを伴うものは費用対効果の評価によって、今後の取組の方向性を導き、それらを総括して、市が法人に期待することや対策の強化を望む部分を明確にすることにより、上記趣旨を達成していく構成となっています（各取組の評価と今後の取組の方向性の区分選択の考え方については次頁参照）。

・また、本取組評価においては、市と法人の役割の再構築と、様式や指標の見直し、評価の客観性向上のための仕組づくりの視点から、次のような手法の改善も行っています。

	従来の「経営改善計画」の点検評価	今回の「連携・活用方針」の取組評価
市と法人の役割の再構築	本市と調整の上、 <u>法人が指標を設定</u>	本市施策との <u>連携の観点から、法人と調整の上、本市が指標を設定</u>
様式や指標の見直し	<u>様式・指標ともに複雑・多岐</u>	様式については、 <u>最初の2頁で評価の全体構成を簡潔に把握</u> できるように改定 指標については、 <u>最終アウトカムを中心に適切な指標を絞り込んで設定</u>
評価の客観性向上のための仕組づくり	<u>内部評価後、結果をホームページにおいて公表</u>	内部評価に外部評価を加え、 <u>結果を議会に報告の上、ホームページにおいて公表</u>

(参考)経営改善及び連携・活用に関する取組の評価と今後の取組の方向性の区分選択の考え方

① 各取組の指標に対する達成度の選択の考え方

●各達成度の基本的な考え方

- a. 実績値 \geq 目標値
- b. 目標値 $>$ 実績値 \geq 現状値（個別設定値）
- c. 現状値（個別設定値） $>$ 実績値 \geq 目標値の60%
- d. 目標値の60% $>$ 実績値

●現状値と目標値が同じ（現状値維持）であるか、または現状値と目標値の間に差があるが、その差が極少数であり、実質的に現状維持に近い場合

⇒個別設定値を設定し、その考え方を各個表の説明欄に記載しています。区分の「現状値」を「個別設定値」と読み替えた上で選択。（原則として、方針の参考資料（指標一覧）に記載されている直近数年間の平均値と、現状値の95%（105%）のうち、より目標値に近い数値を個別設定値としている。）

●目標値 \times 60%が、現状値以上（良い）の場合

⇒abdから選択。

また、現状値以上であっても、目標値の60%未満の場合はdを選択。

●目標値が現状値未満（悪い）の場合（個別設定値を設定している場合を除く）

⇒acdから選択。

また、現状値未満であっても、目標値以上の場合はaを選択。

●0に抑えることを目標にしている場合（コンプライアンスに反する事案の発生件数等）

⇒達成の場合はa、未達成の場合はdを選択。

●下がるのが望ましい指標の場合

⇒区分を下記に読み替えた上で選択。

- a. 目標値 \geq 実績値
- b. 現状値（個別設定値） \geq 実績値 $>$ 目標値
- c. 目標値の60% \geq 実績値 $>$ 現状値（個別設定値）
- d. 実績値 $>$ 目標値の60%

(参考)経営改善及び連携・活用に関する取組の評価と今後の取組の方向性の区分選択の考え方

② 各取組に対する本市による達成状況の評価の考え方

前記①の「指標に対する達成度」に応じて、以下のとおり判定を行い、その結果を踏まえ、本市による評価として区分を選択。

指標に対する達成度	点数	事例1		事例1		事例2		事例3		事例4	
		指標の数	合計点								
a	3	3	9	2	6	1	3	0	0	0	0
b	2	0	0	1	2	1	2	1	2	0	0
c	1	0	0	0	0	1	1	2	2	1	1
d	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
		3	9.00	3	8.00	3	6.00	3	4.00	3	1.00

平均点(合計点÷指標の数)→ 3.00 2.67 2.00 1.33 0.33

達成状況区分	指標に対する達成度の平均点
A. 目標を達成した	3
B. ほぼ目標を達成した	2.5以上～3未満
C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった	1.5以上～2.5未満
D. 現状を下回るものが多くあった	0.5以上～1.5未満
E. 現状を大幅に下回った	0.5未満

ただし、「法人コメント」に記載された、その他の成果等を踏まえ、原則とは異なる達成状況区分を選択することも可能。なお、この場合には、次の「区分選択の理由」において、原則とは異なる区分を選択した根拠を明確に記入。

(参考) 経営改善及び連携・活用に関する取組の評価と今後の取組の方向性の区分選択の考え方

③ 各取組に対する費用対効果の評価の考え方

前記②の「達成状況」と以下の「行政サービスコストに対する達成度」に応じて、判定を行い、その結果を踏まえ、その選択肢の範囲内で本市による評価として区分を選択。

(目標値・実績値ともにゼロ以下の場合、セルに斜線 (/) を入力。)

⑥達成状況 \ ⑩行政サービスコストに対する達成度	1). 実績値が目標値の100%未満	2). 実績値が目標値の100%以上110%未満	3). 実績値が目標値の110%以上120%未満	4). 実績値が目標値の120%以上
A. 目標を達成した	(1). 十分である	(1). 十分である (2). 概ね十分である	(2). 概ね十分である (3). やや不十分である	(2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である
B. ほぼ目標を達成した	(1). 十分である (2). 概ね十分である	(1). 十分である (2). 概ね十分である	(2). 概ね十分である (3). やや不十分である	(2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である
C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった	(2). 概ね十分である	(2). 概ね十分である (3). やや不十分である	(2). 概ね十分である (3). やや不十分である	(2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である
D. 現状を下回るものが多くあった	(3). やや不十分である (4). 不十分である	(3). やや不十分である (4). 不十分である	(3). やや不十分である (4). 不十分である	(3). やや不十分である (4). 不十分である
E. 現状を大幅に下回った	(3). やや不十分である (4). 不十分である	(4). 不十分である	(4). 不十分である	(4). 不十分である

ただし、「法人コメント」の記載内容を踏まえ、原則とは異なる区分を選択することも可能。
 なお、この場合には、次の「区分選択の理由」において原則とは異なる区分を選択した根拠を明確に記入。

(参考)経営改善及び連携・活用に関する取組の評価と今後の取組の方向性の区分選択の考え方

④ 今後の取組の方向性の選択の考え方

前記②と③の評価等を踏まえ、以下の表を参考に、法人としての今後の取組の方向性を3つの区分から選択。

方向性区分	説明(選択の要件)
I. 現状のまま取組を継続	<p>【本市施策推進に向けた事業取組】 (以下の両方に該当する場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前記②の「達成状況」について「A. 目標を達成した」又は「B. ほぼ目標を達成した」を選択 ・前記③の「費用対効果」について「(1). 十分である」又は「(2). 概ね十分である」を選択 <p>【経営健全化に向けた取組、業務・組織に関する取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前記②「達成状況」について「A. 目標を達成した」又は「B. ほぼ目標を達成した」を選択
II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続	<p>【本市施策推進に向けた事業取組】 (以下のいずれかに該当する場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前記②の「達成状況」について「C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった」又は「D. 現状を下回るものが多くあった」又は「E. 現状を大幅に下回った」を選択 ・前記③の「費用対効果」について「(3). やや不十分である」、「(4). 不十分である」を選択 (目標等の見直しが必要な場合には、その根拠を明確に記入。) <p>【経営健全化に向けた取組、業務・組織に関する取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前記②の「達成状況」について「C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった」又は「D. 現状を下回るものが多くあった」又は「E. 現状を大幅に下回った」を選択
III. 状況の変化により取組を中止	取組を中止する場合(その根拠を明確に記入。)

3 平成30年度 取組評価の総括

・本市施策推進に向けた事業取組は、24法人で65の取組（うち41の取組が費用対効果の評価あり）があり、本市による達成状況の評価が「A、B又はC」となったものが約91%、費用対効果の評価が「(1)又は(2)」となったものが約88%と、**全体としては、一定の成果があったと認められる**ものの、達成状況の評価が「D又はE」となったものが約9%、費用対効果の評価が「(3)又は(4)」となったものが約12%と、**現状を下回り目標未達の課題のある取組も散見**されるところです。

・同様に経営健全化に向けた取組においては、36の取組があり、本市による達成状況の評価が「**A、B又はC**」となったものが約97%で、「**D又はE**」となったものが約3%という状況です。

・業務・組織に関する取組についても、45の取組があり、本市による達成状況の評価が「**A、B又はC**」となったものが約96%で、「**D又はE**」となったものが約4%という状況です。

	取組数	本市による達成状況の評価	費用対効果の評価
本市施策推進に向けた事業取組 (うち費用対効果の評価を伴うもの)	65 (41)	A 57% B 22% C 12% 計91% D 8% E 2% 計9%	(1) 39% (2) 49% 計88% (3) 10% (4) 2% 計12%
経営健全化に向けた取組	36	A 69% B 0% C 28% 計97% D 3% E 0% 計3%	—
業務・組織に関する取組	45	A 91% B 2% C 2% 計96% D 0% E 4% 計4%	— ※端数処理の関係で合計数値が合わない場合あり

4 平成30年度 評価結果を踏まえた今後の取組の方向性

- ・各取組において、今後の取組の方向性が、次のとおり「Ⅰ」となった約72%、67%、93%のものについては、引き続き、**法人の自立性を尊重しつつ、必要に応じて市と法人が連携を図りながら、取組を進めていくことが必要**です。
- ・各取組において、今後の取組の方向性が、次のとおり「Ⅱ」となった約28%、28%、7%のものについては、**その要因を分析し、出資法人自ら取組の改善策を講じるだけでなく、市としてもより積極的な関与を行っていくことが求められます**。
- ・ただし、今後の取組の方向性が「Ⅱ」となったものの中には、**方針策定時から市の施策推進等に伴う大幅な事業を取り巻く状況の変更があったものや当初の目標設定を誤っていたもの**もあり、その場合には、理由を明確にした上で、今回の評価に併せて、目標値等の変更を行うものとします。
- ・なお、今回の評価において、今後の取組の方向性が「Ⅲ」となったものは、令和2年度末で解散予定の看護師養成確保事業団の入学検定料並びに入学料及び授業料の確保の取組となっています。

	取組数	今後の取組の方向性
本市施策推進に向けた事業取組	65	Ⅰ ...約72%、Ⅱ ...約28%
経営健全化に向けた取組	36	Ⅰ ...約67%、Ⅱ ...約28%、Ⅲ ...約6%
業務・組織に係る取組	45	Ⅰ ...約93%、Ⅱ ...約7%

※端数処理の関係で合計数値が100%とならない場合あり

経営改善及び連携・活用に関する方針 (平成30(2018)年度～平成33(2021)年度)

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局緑政部みどりの企画管理課
----------	------------------	-----	-------------------

経営改善及び連携・活用に関する方針

法人の施策概要

(1) 法人の事業概要

【公益目的事業】

- ① 緑の街づくりの推進及び普及啓発に関する事業
 - ② 公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業
- 【公益目的事業の推進に資するために実施する収益事業等】
- ④ 駐車場及び売店等の経営

(2) 法人の設立目的

緑の保全と緑豊かな街づくりの推進及び公園緑地の円滑な運営を通して市民に健全な利用の促進、潤いと安らぎのある街づくりを行うことによる地域社会の健全な発展への寄与

(3) 法人のミッション

- ① 民有地の緑の保全及び緑化の普及啓発と市民の緑化意識の向上、市民による緑の街づくりの推進
- ② 緑のボランティアセンター機能としての、緑のボランティアの育成、活動支援の充実
- ③ 公園緑地施設等の円滑な運営と健全な利用の増進
- ④ 行政との協働により、市民の窓口となり市民ニーズを踏まえた多様な事業展開ができる緑の情報発信基地としての機能を果たし、緑豊かな潤いと安らぎのある街づくりに寄与すること

本市施策における法人の役割

市の緑地等に関する事業及び民有地の緑化に関する事業の推進に協力し、公園緑地の円滑な運営及び健全な利用の促進並びに市民の緑化意識の向上を図ることによって緑豊かな潤いと安らぎのあるまちづくりに寄与するとともに、ボランティアセンターとしての機能を付加することで、市民活動拠点として充実させること

- ・緑のボランティア育成及び持続的な活動の支援
- ・民有地に対する助成事業を行い、緑の保全、緑化の推進及び緑化意識の向上
- ・公園緑地施設等の管理運営

法人の取組と関連する計画	市総合計画における位置づけ	基本政策	施策
	分野別計画	市民生活を豊かにする環境づくり	協働の取組による緑の創出と育成
		川崎市緑の基本計画	

現状と課題

(現状)

「川崎市緑の基本計画」に基づき、市民との協働による都市緑化の推進と緑のボランティア活動支援に取り組み、各種講座、コンクール、イベント等を実施しています。また、公益目的事業の推進、公益財団法人としての自立的な経営に向けて、事業の簡素化、効率化、収益事業の拡充、組織再編等を図り経費削減に努めています。

(課題)

公園緑地の運営を進めていく上で、民間事業者との競争が激しくなっている中、事業経費の確保など自主的・自立的な経営の継続が課題となっています。

取組の方向性

(1) 経営改善項目

公園緑地における新たな管理運営を踏まえた事業の再構築を行うために、法人の自立性の確保や経営の安定化を図り、自主的な財源確保を目指します。
また、経営の改善にあたり、事業の簡素化・効率化を図ります。

(2) 本市における法人との連携・活用

「川崎市緑の基本計画」における各施策について、これまでの取組の継続に加えて、以下の観点を踏まえ、法人の役割を確認しながら連携・活用します。

- ・緑のパートナーとして多様な主体との連携、促進を図り、「緑育」という視点で、特に次世代を担う子供たちに対する活動支援
- ・緑の空間の持続的な保全・創出・育成という観点から、緑化助成制度の更なる普及と充実
- ・グリーンコミュニティ形成の観点から、身近な公園における地域コミュニティ形成、柔軟な利活用

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局緑政部みどりの企画管理課
----------	------------------	-----	-------------------

1. 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する計画

4カ年計画の目標

緑の保全と緑豊かな街づくりの推進及び公園緑地の円滑な運営を通して市民に健全な利用の促進を図り、潤いと安らぎのある街づくりを行うことにより、地域社会の健全な発展に寄与するという公園緑地協会の目的を達成するため、「緑の街づくりの推進及び普及啓発に関する事業」「公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業」「収益事業」の3つを柱に、川崎市の緑の保全と緑豊かな街づくりを推進し、法人を市民等の緑の活動支援や育成、普及啓発のためのボランティアセンターとしての機能を有する緑の拠点として位置づけ、緑に関する事業運営を推進拡充していきます。

本市施策推進に向けた事業計画

取組No.	事業名	指標	現状値	目標値					単位
			平成29(2017)年度	平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度		
①	緑化推進・普及啓発事業	広報出稿等回数	241	243	245	248	250	回	
		記念樹配布本数	1,126	1,140	1,150	1,160	1,170	本	
		事業別の行政サービスコスト	50,573	50,500	50,300	50,100	50,000	千円	
②	緑のボランティア事業(緑のボランティアセンター運営事業)	各種講座受講者満足度	90	92	94	96	98	%	
		各種講座受講者数	3,866	3,870	3,880	3,890	3,900	名	
		事業別の行政サービスコスト	61,305	61,300	61,200	61,100	61,000	千円	
③	公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業	各種イベント等実施回数	36	36	37	38	39	回	
		ばら苑来苑者数	75,112	95,200	96,000	98,000	100,000	人	
		事業別の行政サービスコスト	238,681	209,000	208,000	207,000	206,000	千円	

経営健全化に向けた事業計画

取組No.	項目名	指標	現状値	目標値					単位
			平成29(2017)年度	平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度		
①	経費の削減	一般管理費	23,673	23,500	23,000	22,500	22,000	千円	

業務・組織に関わる計画

取組No.	項目名	指標	現状値	目標値					単位
			平成29(2017)年度	平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度		
①	人事給与制度の改革	役員報酬、正規職員給与	88,227	87,000	87,000	87,000	63,000	千円	
②	コンプライアンスの徹底	コンプライアンスに反する事案の発生件数	0	0	0	0	0	件	

2. 本市施策推進に向けた事業計画①

事業名		緑化推進・普及啓発事業						
指標		①広報出稿等回数、②記念樹配布本数						
現状		緑化推進・普及啓発事業等を広報する媒体として広報誌・チラシ・パンフレット等の発行からホームページの活用まで幅広い広報活動を展開						
行動計画		広報誌・チラシ・パンフレット・タウン紙等の紙媒体からホームページなどの電子媒体を幅広く活用し、広く市民に緑化の推進・普及啓発事業等を周知していく。更にフェイスブック等を活用し、リアルタイムに情報を提供、周知できるよう努めます。						
スケジュール		現状値	目標値					単位
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
指標	1	広報出稿等回数	241	243	245	248	250	回
	説明	広報誌・ホームページ等による緑化推進・普及啓発事業等の広報活動を展開						
	2	記念樹配布本数	1,126	1,140	1,150	1,160	1,170	本
	説明	出生、入学、結婚等の市民の思い出記念として、記念樹を贈呈						
	3	事業別の行政サービスコスト	50,573	50,500	50,300	50,100	50,000	千円
	説明	直接事業費－直接自己収入						

本市施策推進に向けた事業計画②

事業名		緑のボランティア事業(緑のボランティアセンター運営事業)						
指標		①各種講座受講者満足度 ②各種講座受講者数						
現状		緑のボランティア活動団体の育成を図るため、応募方式等による各種講座・出前講座を開催するとともに、緑のボランティア活動に対する支援事業を展開し、緑化意識の向上を図っています。						
行動計画		緑のボランティア育成と活動支援を目的とした各種講座・出前講座等を開催し、受講者数を増やすとともに、受講者の満足度を高めていきます。						
スケジュール		現状値	目標値					単位
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
指標	1	各種講座受講者満足度	90	92	94	96	98	%
	説明	受講者アンケートにおいて、「満足」と回答のあった割合						
	2	各種講座受講者数	3,866	3,870	3,880	3,890	3,900	名
	説明	緑のボランティア育成・支援を目的に行う各種講座等の受講者数						
	3	事業別の行政サービスコスト	61,305	61,300	61,200	61,100	61,000	千円
	説明	直接事業費－直接自己収入						

本市施策推進に向けた事業計画③

事業名		公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業						
指標		①各種イベント等実施回数、②ばら苑来苑者数						
現状		収益事業(売店・自動販売機・駐車場)を財源として、独自に展開している各種イベント(自主事業)をはじめ、公園内運動施設、生田緑地ばら苑等の受託運営管理事業を行っています。						
行動計画		収益事業の収益額を財源としている各種イベントの実施回数を4年間で10%増加させる目標を設定し、ばら苑でのイベント等の実施を増やしばら苑の来苑者数を増加させます。						
スケジュール		現状値		目標値			単位	
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
指標	1	各種イベント等実施回数	36	36	37	38	39	回
		説明	サッカーフェスタ、凧揚げ大会、釣り教室、ばら苑コンサートなどの実施回数					
	2	ばら苑来苑者数	75,112	95,200	96,000	98,000	100,000	人
		説明	生田緑地ばら苑における春・秋の一般開放の来苑者数					
	3	事業別の行政サービスコスト	238,681	209,000	208,000	207,000	206,000	千円
		説明	直接事業費－直接自己収入					

3. 経営健全化に向けた計画

項目名		経費の削減						
指標		一般管理費						
現状		平成25年度公益財団法人への移行に伴い、平成26年度以降組織再編と人件費、事業経費削減を図り、平成29年度も継続して事業の見直しと人員配置変更等を行い、法人運営費にあたる一般管理費の見直しを行っています。						
行動計画		光熱水費、消耗品、物件のリース等について、日常の業務見直し、一括発注などにより、一般管理費の経費削減を図ります。						
スケジュール		現状値		目標値			単位	
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
指標	1	一般管理費	23,673	23,500	23,000	22,500	22,000	千円
		説明	一般管理費の経費総額					

4. 業務・組織に関する計画

項目名		人事給与制度の改革						
指標		役員報酬、正規職員給与						
現状		平成25年度公益財団法人への移行とゴルフ事業からの撤退に伴い組織再編を継続し人事給与の見直しを行い、役員報酬及びプロバ職員給与月額を減額しています。						
行動計画		今後も継続して経営、財政の安定化を図り、人件費削減に努めます。						
スケジュール		現状値	目標値				単位	
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
指標	1	役員報酬、正規職員給与	88,227	87,000	87,000	87,000	63,000	千円
	説明	役員報酬・正規職員給与経費						

業務・組織に関する計画②

項目名		コンプライアンスの徹底						
指標		コンプライアンスに反する事案の発生件数						
現状		コンプライアンスに関連する規則の倫理行動基準を遵守しています。						
行動計画		引き続きコンプライアンスに関連する規則の倫理行動基準を遵守し、コンプライアンスに反する事案の発生を未然に防ぎます。						
スケジュール		現状値	目標値				単位	
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
指標	1	コンプライアンスに反する事案の発生件数	0	0	0	0	0	件
	説明	事案が発生しないよう努める						

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局緑政部みどりの企画管理課
----------	-----------------	-----	-------------------

(参考)本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する計画に設定する指標一覧

本市施策推進に向けた事業計画

指標	指標の考え方	現状値	目標値	目標値の考え方
		平成29(2017)年度	平成33(2021)年度	
①緑化推進・普及啓発事業				
1	算出方法 広報出稿回数 協会広報誌・冊子・HP・市政だより・タウン紙等などの広報出稿回数	241回	250回	現在、広報媒体として特に力を入れているのが、ホームページ内のフェイスブックである。29年度からはじめて、広報出稿回数を過去4年間の平均(109回)を超えているが、さらに年2～3回の増を目標に設定した。 (参考:H26-29 平均109回)
2	算出方法 記念樹配布本数 出生・結婚・入学・成人等の思い出として市民に記念樹を配布する本数	1,126本	1,170本	記念樹の配布本数を過去4年間の平均(1137本)だが、さらに年10本の増を目標に設定した。 (参考:H26-29 平均1137本)
3	算出方法 事業別の行政サービスコスト 直接事業費ー直接自己収入	50,573千円	50,000千円	効率的な運営等による支出削減の推進を図るため、事業別の行政サービスコストの推移を見ることで、その取組の成果を測る指標として設定した。 各経費削減に努め、年10～20万円程度の削減を目標として設定した。
②緑のボランティア事業(緑のボランティアセンター運営事業)				
1	算出方法 各種講座受講者満足度 受講者アンケートにおいて、「満足」と回答のあった割合	90%	98%	緑のボランティア活動支援について、各種講座受講者の満足度を図る指標として設定した。 各種講座満足度について、さらに年2%の増を目標に設定した。 (参考:H26-29 平均92%)
2	算出方法 各種講座受講者数 花と緑、里山、こども黄緑クラブ、花壇ボランティア等各種講座の受講者数	3,866名	3,900名	緑のボランティアや活動団体の推進・支援・育成を目的に各種講座を開催し、より多くの市民に受講していただくことで、緑化意識の向上を図る指標として設定した。 各種講座回数を増やし講座受講者数を過去4年間の平均(3783名)だが、さらに年5～10人程度の増を目標に設定した。 (参考:H26-29 平均3783名)
3	算出方法 事業別の行政サービスコスト 直接事業費ー直接自己収入	61,305千円	61,000千円	効率的な運営等による支出削減の推進を図るため、事業別の行政サービスコストの推移を見ることで、その取組の成果を測る指標として設定した。 各経費削減に努め、年10万円程度の削減を目標として設定した。

③公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業					
1	各種イベント等実施回数	公園緑地や運動施設の利用促進を図ることを目的に各種イベントを実施する回数を指標として設定した。	36回	39回	各種イベント等を充実させ、過去4年間の平均(30回)だが、さらに年1回程度の増を目標に設定した。 (参考:H26-29 平均30回)
	算出方法 協会主催等のイベント回数				
2	ばら苑来苑者数	春秋のばら苑開苑期間中の来苑者数は、天気左右されやすいが、各種イベント等や広報活動を充実させ来苑者数の増加による魅力の向上を図る指標として設定した。	75,112人	100,000人	春秋のばら苑開苑期間に行う各種イベント等と広報活動を充実させ、過去4年間の平均(95,157名)だが、最終年度に100,000人とする目標に設定した。 (参考:H26-29 平均95,157名)
	算出方法 春秋のばら苑一般開放時来苑者数				
3	事業別の行政サービスコスト	効率的な施設運営等による支出削減の推進を図るため、事業別の行政サービスコストの推移を見ることで、その取組の成果を測る指標として設定した。	238,681千円	206,000千円	平成30年度は事業見直しにより209,000千円を目標とし、平成31年度以降は、更なる経費削減に努め、年100万円程度の削減を目標とした。
	算出方法 直接事業費-直接自己収入				

経営健全化に向けた事業計画

指標	指標の考え方	現状値	目標値	目標値の考え方	
		平成29(2017)年度	平成33(2021)年度		
①経費の削減					
1	一般管理費	平成25年度公益財団法人に移行後、組織再編に取り組み、人件費・管理費等削減に努めてきたが、引き続き経営の安定化等を図るため一般管理費を指標として設定した。	23,672千円	22,000千円	一般管理費の各経費削減に努め、年50万円程度の削減を目標として設定した。 (参考:H26-H29 平均22,000千円)
	算出方法 一般管理費の経費総額				

業務・組織に関わる計画

指標	指標の考え方	現状値	目標値	目標値の考え方	
		平成29(2017)年度	平成33(2021)年度		
①人事給与制度の改革					
1	役員報酬・正規職員給与	平成25年度公益財団法人に移行後、組織再編に取り組み、役員報酬・正規職員の人件費削減を行ってきました。引き続き人件費削減の取り組みを推進するため役員報酬・正規職員給与と経費を指標として設定した。	88,227千円	63,000千円	現行の給与等を基準とし、これまでの削減達成度を参考に、今後、民間事業者との競争が激しくなっている状況の中で、さらなる組織の効率化を目指し、目標値を設定した。(参考:H26-H29 平均94,000千円)
	算出方法 役員報酬・正規職員給与と経費				
②コンプライアンスの徹底					
1	コンプライアンスに反する事案の発生件数	コンプライアンスに反する事案の発生件数を指標とすることで、職場規律の遵守に向けた業務・組織に関する取組の成果を測ることができます。	0件	0件	引き続きコンプライアンスに関連する規則の倫理行動基準を遵守し、コンプライアンスに反する事案の件数が0件となることを目標とします。
	算出方法 コンプライアンスに反する事案の発生件数				

資金計画表

[平成30年度～平成33年度]

法人名: 公益財団法人川崎市公園緑地協会

(単位:千円)

項目			決算	予算	計画		
			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
経常収支	収入	補助金	97,188	103,417	100,000	100,000	100,000
		事業収入	400,144	364,077	365,000	366,000	367,000
		受取寄付金	4,132	4,500	4,500	4,500	4,500
		受取利息等	377	354	330	330	330
		経常収入合計	501,841	472,348	469,830	470,830	471,830
	支出	事業費	454,229	447,633	446,560	448,060	449,560
		一般管理費	23,673	25,645	23,000	22,500	22,000
		法人税等支出	270	270	270	270	270
		経常支出合計	478,172	473,548	469,830	470,830	471,830
	経常収支			23,669	△ 1,200	0	0
投資収支	固定資産売却収入	0	0	0	0	0	
	投資有価証券等売却収入	0	0	0	0	0	
	固定資産取得支出	0	0	0	0	0	
	投資有価証券等取得支出	0	0	0	0	0	
	投資等収支	0	0	0	0	0	
財務収支	借入金収入	0	0	0	0	0	
	借入均等返済支出	0	0	0	0	0	
	財務収支	0	0	0	0	0	
現金預金増加高			23,669	△ 1,200	0	0	0
期首現金預金			246,608	270,277	269,077	269,077	269,077
期末現金預金			270,277	269,077	269,077	269,077	269,077